

**【概要・目標】**

**【概要】**

チーム医療における、がん看護専門看護師の役割活動（実践，教育，相談，研究，調整，倫理調整）の場の見学およびケアへの参画を通して，臨床現場におけるがん看護専門看護師の役割とその実践例について理解を深めるとともに，自らの行動変容を促すために今後の課題を探求する。

**【目標】**

- ① がん患者あるいは看護職者を含む保健医療従事者に対して，教育，相談，調整等の専門看護師の役割を，がん看護専門看護師とともに実践することができる。
- ② がん看護専門看護師の高度実践例，例えばがん患者の身体的・心理的・社会的・霊的苦痛について，問題解決（アセスメント，看護診断，ケアプラン作成，実施，評価）のプロセスを辿り，根拠に基づいた高度実践の実際について説明できる。
- ③ がん看護専門看護師の役割の中で，今後の自らの課題をみつけ，探求することができる。

---

**【実習期間】**

6月から3月における2週間（10日間）

**【実習施設及び指導者】**

和歌山県立医科大学附属病院	有本幸恵	臨床教育講師／がん看護専門看護師
市立貝塚病院	白石裕実	がんセンター緩和ケア推進室副室長／がん看護専門看護師／緩和ケア認定看護師

---

**【授業内容・スケジュール】**

① 基本的スタンス

がん看護専門看護師が，看護職者を含む保健医療従事者に対して行う相談・調整・教育等の場に参加し，専門看護師としての役割をロールモデルの思考や行動を通じて学ぶ。

② 日々の実習

実習指導者よりスーパーバイズを受けながら実習を行う。必要時，指導教員に報告・連絡・相談する。

③ カンファレンス

第1週の終わりに中間カンファレンスを，2週目の終了日に最終カンファレンスを実施し，見学・参加・実施した看護実践について討議し，実習指導者の助言を得て，学びの課題・意義を明確にする。実施に際して，カンファレンス資料を関係者に配布し，終了後に記録を作成する。

④ 実習中の記録

（ア） 日々の実習記録

実習記録には，①日々の実習目標，②参加あるいは実施した場面と考察および評価，③今後の課題を記録し，毎日，実習指導者が指定した時間に提出する。

---

(イ) カンファレンス記録

中間および最終カンファレンスの内容（討議内容，助言・示唆等）を A4 版 2 枚程度にまとめ提出する。

(ウ) 課題レポート

総括カンファレンスでのスーパーバイズをもとに、「専門看護師の役割に関する考察」をテーマにしたレポートを作成して指導教員に提出する。実際に見学・参画したがん看護専門看護師の役割，とくに相談，教育，倫理調整，臨床研究などについて記載する。

---

**【評価】**

- ① カンファレンスの参加態度（50%）
- ② 日々の記録，カンファレンスの記録，課題(課題は実習要項に記載)レポート内容（30%）
- ③ プレゼンテーションや討議への参加態度（20%）

---

**【その他】**

連絡先：yamada-s@wakayama-med.ac.jp(山田)